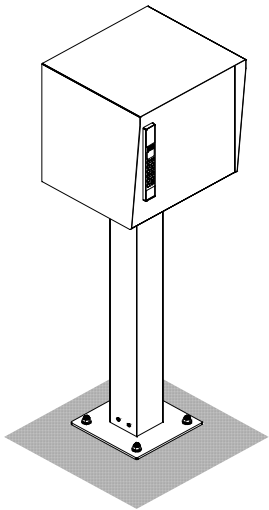
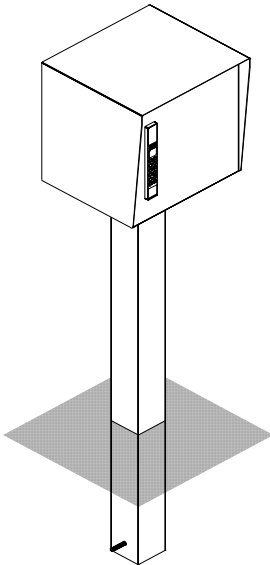


PacPortスマート宅配ボックス

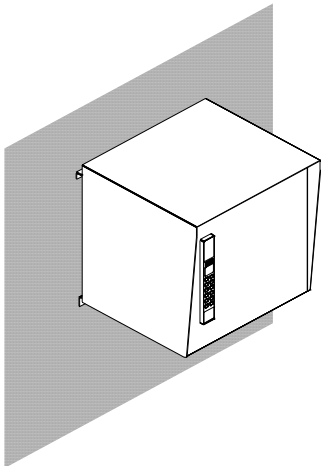
施工説明書



【ポール建てベースプレートタイプ】



【ポール建て埋込タイプ】



【壁付けタイプ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 施工説明書を良くお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**施工前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 取扱説明書は必ず施主様へお渡しいただき、使用方法、メンテナンスなどの説明をしてください。

もくじ

安全上のご注意	表紙	施工手順（ポール建てベースプレートタイプ）	5
施工の前に・施工上の注意	1	部材リスト（ポール建て埋込タイプ）	6
施工に必要な工具	2	施工手順（ポール建て埋込タイプ）	7
基本寸法	3	部材リスト（壁付けタイプ）	8
部材リスト（ポール建てベースプレートタイプ）	4	施工手順（壁付けタイプ）	9

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しております。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告

 禁止	仕様変更・改造は絶対にしない けがの発生や事故のおそれがあります。 変更、改造、分解された場合は商品の保証は致しかねます。	 必ず守る	商品の施工は、施工説明書にしたがい確実に 火災、落下によるけがのおそれがあります。
	室外機などの熱を発するものの近くに設置しない 商品が発火・発煙したり変形するおそれがあります。		

注意

 禁止	製品本体に寄りかかったり、足をかけたり、よじ登ったり、ぶらさがったりしない けがの発生や事故のおそれがあります。	 必ず守る	通行の妨げとなる場所、危険な高さおよび落下のおそれのある場所には設置しない けがの発生や事故のおそれがあります。
	家屋への埋め込み施工はしない けがや建物内へ雨水侵入のおそれがあります。		宅配ボックスの扉を上向きに開けた状態で宅配ボックス内の作業をしない 作業中に扉が閉まり、けがのおそれがあります。

⚠ 注意

⚠ 必ず守る	取り出しスペースを十分にとる 扉の開閉操作が十分に行える場所に設置してください。 けがの発生や事故のおそれがあります。	⚠ 必ず守る	使用状況により、ネジや接着剤の緩みなどがたつきが発生した場合、使用を中止する 宅配ボックスが転倒し、物品の破損や事故、けがにつながるおそれがあります。
	施工後、ネジ類の締め具合をもう一度点検する ネジ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。		
	部材が重量物の場合、運搬、取付作業は2以上で行う けがのおそれがあります。		ベースプレート施工の場合、埋設されている管理（ガス管、水道管、電線管）を破損させないようにする けがの発生や事故のおそれがあります。
	風通しの良い場所に設置する 夏場など異常に温度が上がリ、熱が逃げない場所（サンルームなど）では商品が変形するおそれがあります。		

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

施工の前に

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ボルト、ネジは推奨純正品の規定本数を使い、固定した後にゆるみがないか確認してください。

お願い

- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず施工説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず施工説明書にしたがってください。
- 取出しスペースを十分にとってください。扉の開閉操作が十分に行なえる場所に設置してください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。

施工上のご注意

⚠ 注意

- 取付場所が通行の妨げにならないか確認してください。ぶつかったり、けがをするおそれがあります。

お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく仕様してください。
- ・作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者がおこなってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

施工に必要な工具（各設置タイプ）

ポール建てベースプレートタイプ

名称

	ハンマー		振動ドリル
	レンチ 17mm		コンクリートキリ Φ12.7
	ピン付六角ボルト用マグネットドライバー		清掃用エアー
	ピン付六角ボルト用工具M5・M8用 （★同梱品）		
	インパクトドライバー		
	キリ 下穴用 Φ4.5		
	十字ビット		
	水平器		

※★商品に同梱しております。

ポール建て埋込タイプ

名称

	ピン付六角ボルト用マグネットドライバー		
	ピン付六角ボルト用工具M8用 （★同梱品）		
	インパクトドライバー		
	キリ 下穴用 Φ4.5		
	十字ビット		
	水平器		

※★商品に同梱しております。

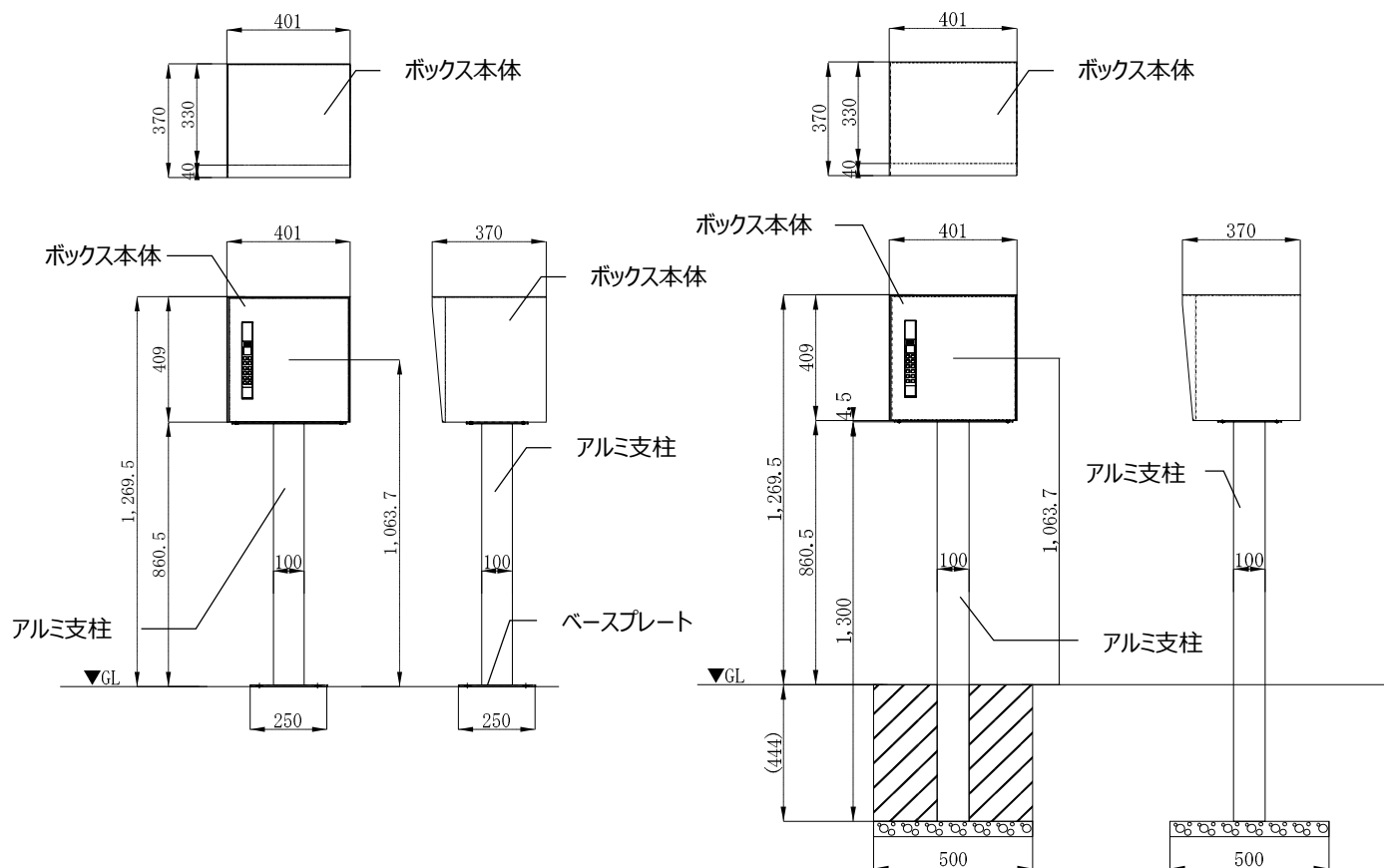
壁付けタイプ

名称

	ピン付六角ボルト用マグネットドライバー		
	ピン付六角ボルト用工具M8用 （★同梱品）		
	インパクトドライバー		
	インパクトドライバー用 ソケット M8用（13）		
	キリ 下穴用 6～7Φ		
	キリ 下穴用 3～4Φ		
	水平器		

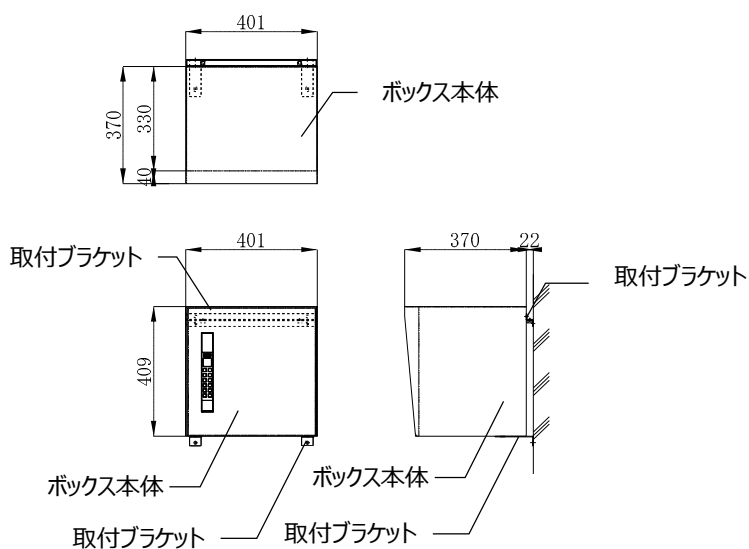
※★商品に同梱しております。

基本寸法



【ポール建てベースプレートタイプ】

【ポール建て埋込タイプ】

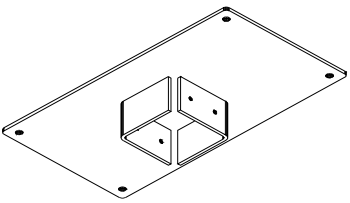
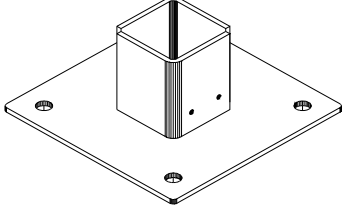
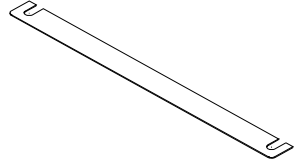
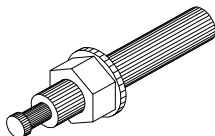
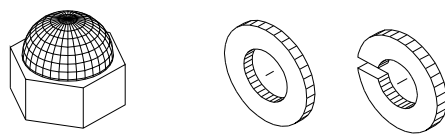
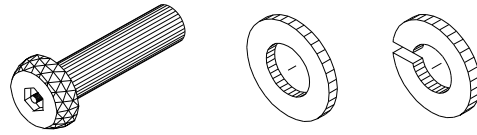
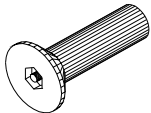
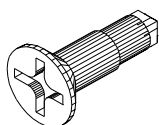
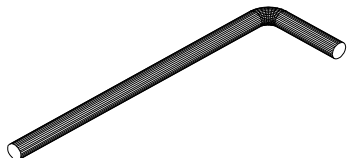


【壁付けタイプ】

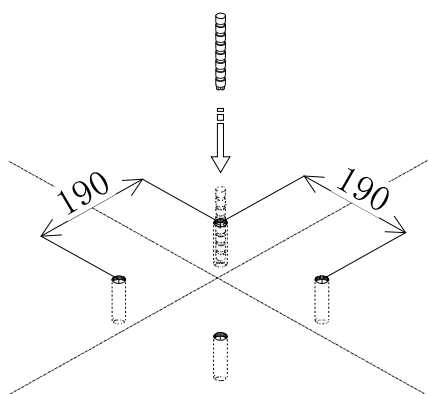
※取付ける際は、左記記載寸法を守って下さい。

同梱品一覧

ポール建てベースプレートタイプ部材

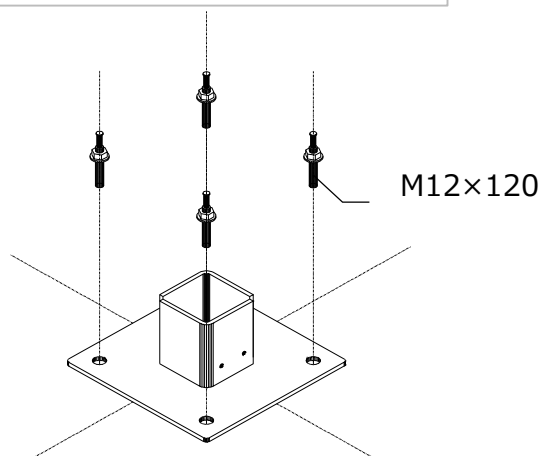
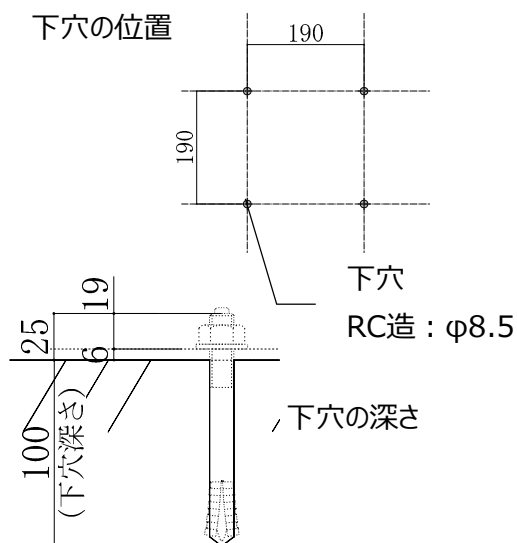
名称		略図	数量
	取付接合ブラケット		1
	ベースプレート		1
	勾配用スペーサー		1
	アルミ支柱		1
	オールアンカーボルト(C) M12×120(SUS)		4本
	袋ナット M12W/SW/FN(SUS)		4セット
	ピン付き六角ボタンボルト M8×20 B/W/SW(SUS)		4セット
	ピン付き六角皿ボルト M5×20B(SUS)		8本
	皿テックスビス M5×19(SUS)		2本
	ピン付き六角ボルト用工具 M5・M8用		2本

施工手順 ポール建てベースプレートタイプ

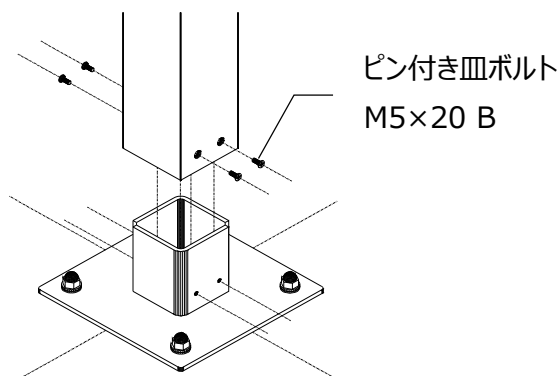


1.コンクリート用ドリル(φ12.7)にて、
4カ所下穴をあける。

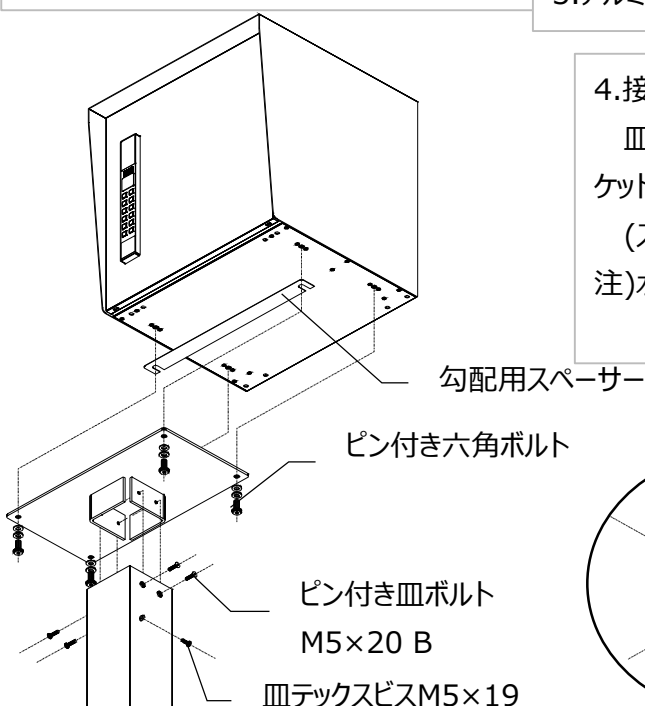
下穴の位置



2.ベースプレートを下穴に合わせて
ベースプレートを設置し、M12アンカーを
4本で固定(施工後M12袋ナットに変更で
きます。)

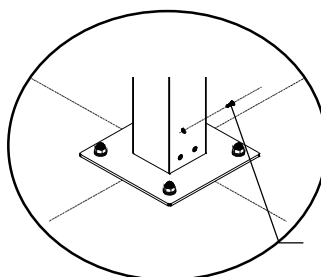


3.アルミ支柱をM5皿ボルト4本で接合する。



4.接合用ブラケットとアルミ支柱をM5
皿ボルト4本で接合し、ボックス本体と接合ブラ
ケットをM8ボルト4本で
(スペーサー)共に取り付けて下さい。
注)水平器を使用して、施工を確認して下さい。

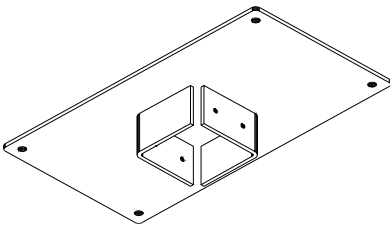
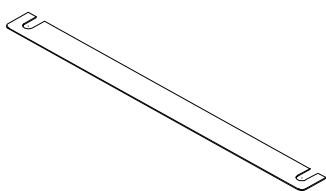
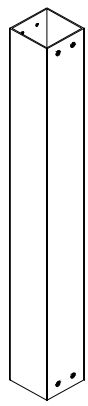
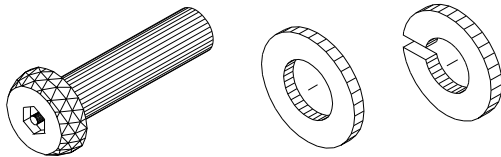
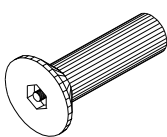
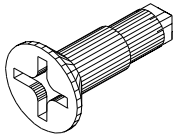
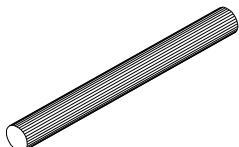
5.M5皿テックスビスを上
部及び下部のアルミに有る
加工穴部に各1本、固定
して下さい。(下穴をあける
と容易に固定できます。)



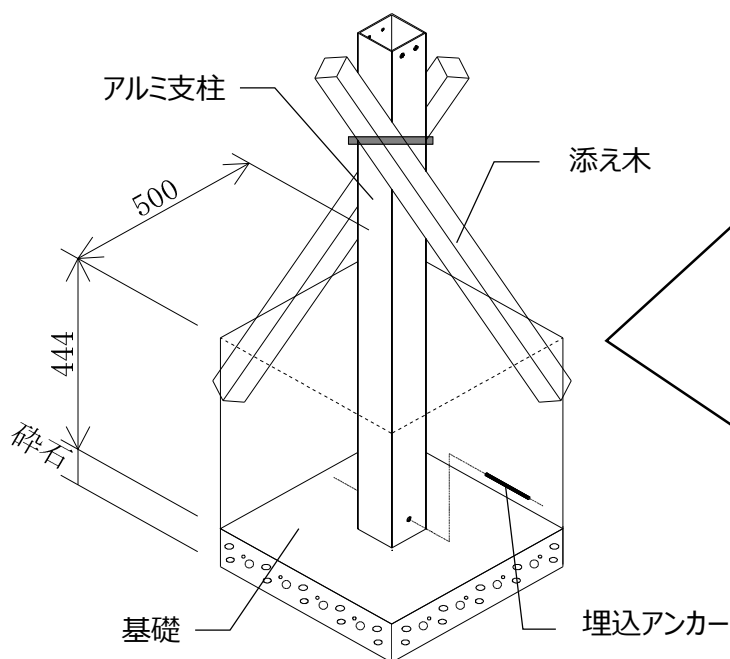
皿テックスビスM5x19

同梱品一覧

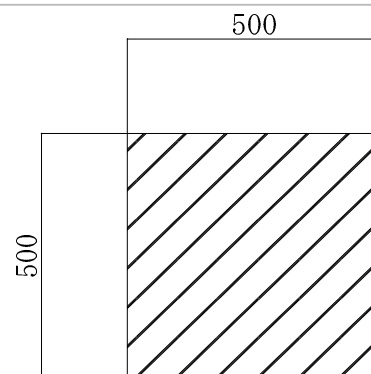
【ポール建て埋込タイプ】

名称		略図	数量
	取付接合ブラケット		1
	勾配用スペーサー		1
	アルミ支柱		1
	ピン付き六角ボタンボルト M8×20 B/W/SW(SUS)		4セット
	ピン付き六角皿ボルト M5×20B(SUS)		4本
	皿テックスビス M5×19(SUS)		1本
	埋込アンカー M10×150(UNI)		1本
	ピン付き六角ボルト用工具 M5・M8用		2本

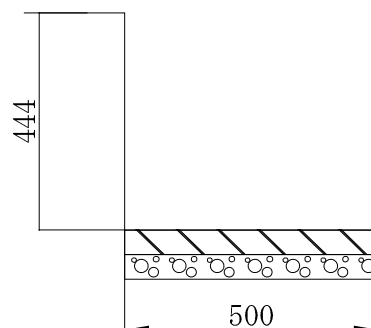
施工手順 ポール建て埋込タイプ



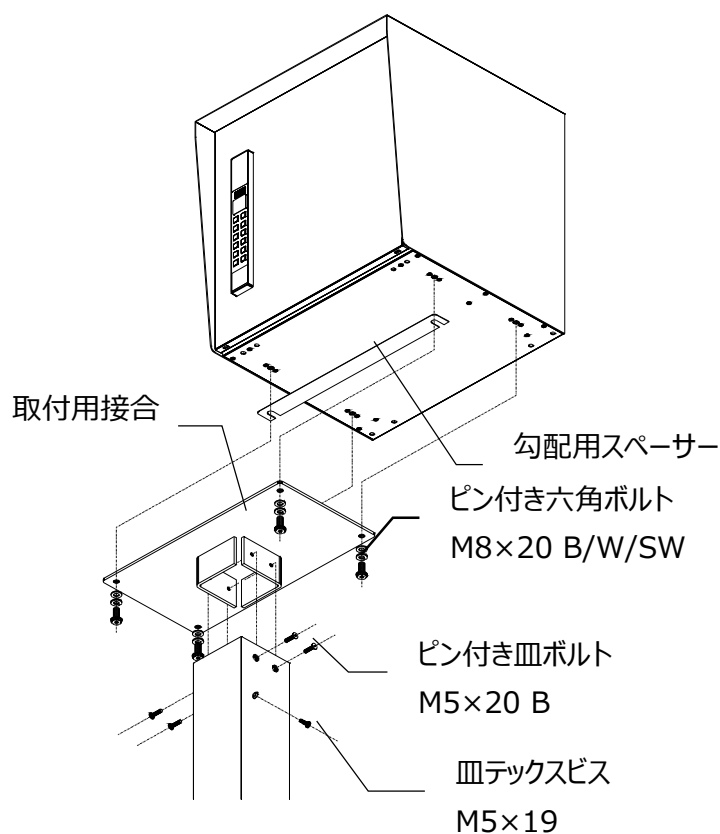
基礎穴のサイズ



基礎穴の深さ



- 1.基礎穴を掘り
 - 2.埋込アンカーをアルミ支柱に差込添え木等をして柱を固定。
 - 3.基礎コンクリートを打設
- 注) 柱を建てる際は、水平器等を使用して、調整して下さい。



★コンクリート養生後

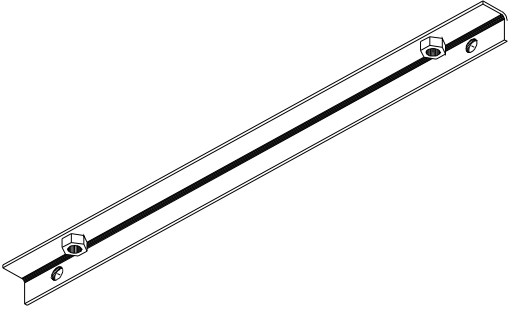
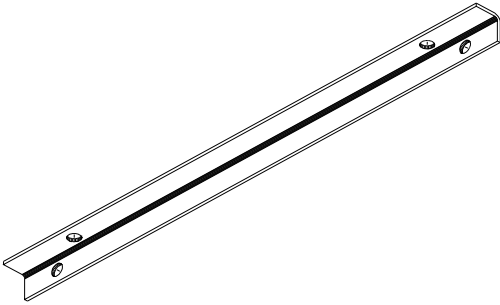
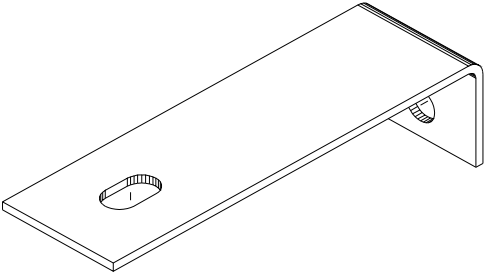
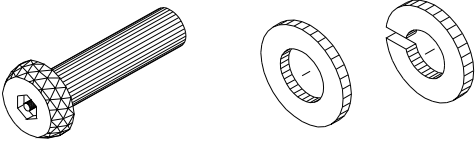
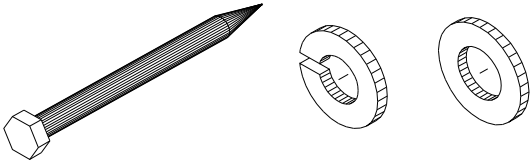
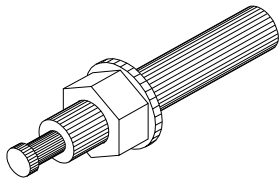
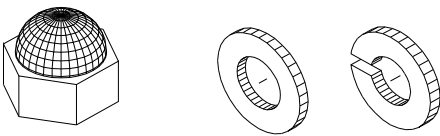
- 4.接合用 Bracket とボックス本体を (スペーサー) 共に M8 ボルト 4 本にて取り付けて下さい。

※接合 Bracket をアルミ支柱に付けてからボックス本体を取付ける
注) 水平器を使用して、施工を確認して下さい。

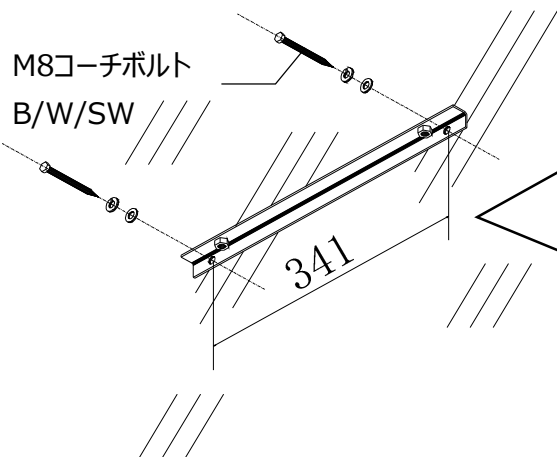
注) 万が一柱に水が入る場合がありますので、支柱の下部に水抜き穴を設けて下さい。

同梱品一覧

【壁付けタイプ】

名称		略図	数量
	取付ブラケット 躯体用 止水パッキン付き		1個
	取付ブラケット 本体用		1個
	取付ブラケット(下) 止水パッキン付き		2個
	ピン付き六角ボタンボルト M8×20 B/W/SW(SUS)		6セット
木 造 軀 体	コーチボルト M8 W/SW(SUS)		4セット
R C 軀 体 用	ホールインアンカーボルト(C) M8 (SUS)		4本
	袋ナット M8W/SW/FN(SUS)		4セット
	ピン付き六角ボルト用 M8用		1本

施工手順 壁付けタイプ



下穴の位置

341

下穴

木造 : $\phi 6 \sim 7$

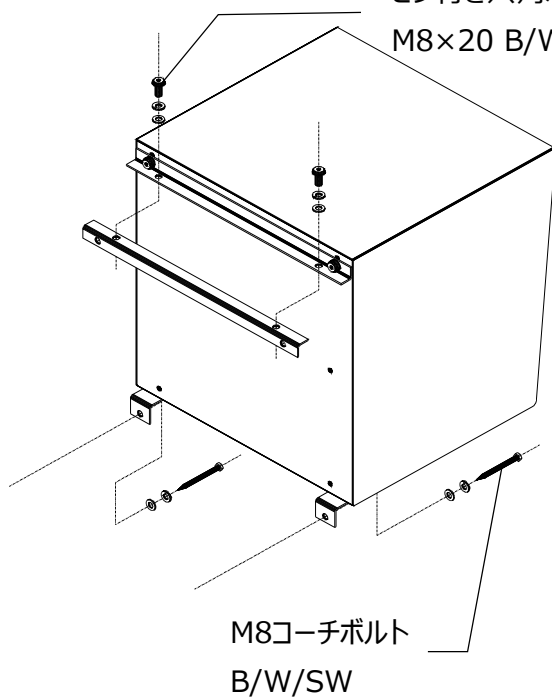
RC造 : $\phi 8.5$

1. むく用ドリル($\phi 6 \sim 7$)程度にて、
2カ所下穴をあける。
RCの場合)コンクリート用ドリルを使用して下さい。(下穴 $\phi 8.5$)
2. 取付ブラケットをM8コーチボルト2本で、躯体に取付ける。

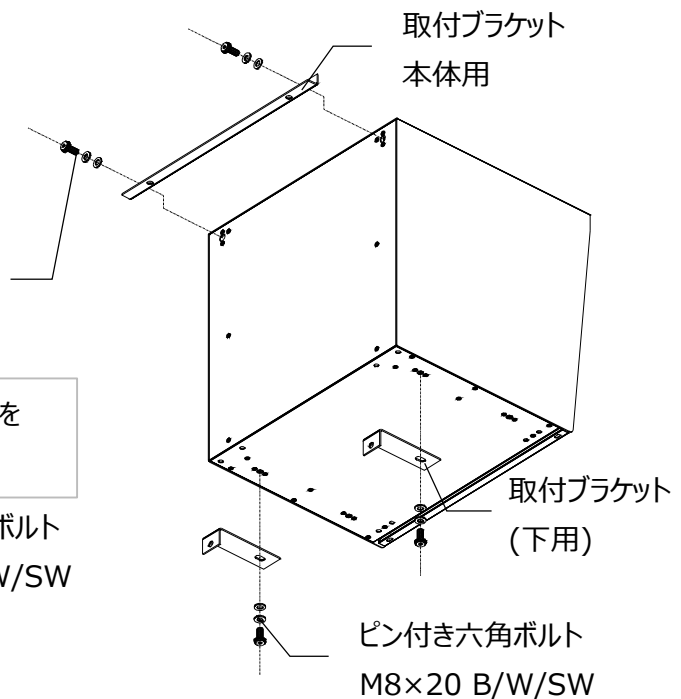
ピン付き六角ボルト
M8×20 B/W/SW

3. 裏面側に取付ブラケット(上・下)を
本体に取付ける。

ピン付き六角ボルト
M8×20 B/W/SW



M8コーチボルト
B/W/SW



取付ブラケット
本体用

取付ブラケット
(下用)

ピン付き六角ボルト
M8×20 B/W/SW

4. 躯体に取付けたブラケットと本体
のブラケット(上)をM8ボルト2本で
接合して下さい。
5. 上を接合したら、下のブラケットを
出入りを調整して、躯体に
M8コーチボルト2本で、固定して下さい。
RCの場合)コンクリート用ドリルを使用して下さい。(下穴 $\phi 8.5$)
注)水平器を使用して、施工を確認して下さい。
注)施工後、コーキング等で止水処理をして下さい。